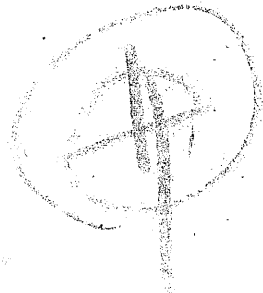


十月二十二日

八三〇

青  
軍司令官

参謀長



1687

普通

21日09時25分

13時30分

(2)

第二組

軍參謀長

京城

又電第一七七號

米軍ノ要求ニ依リ濟州島部隊撤退指導ノ爲左記  
將校以下ヲ一九日ヨリ當分ノ間派遣セシメアルニ付承知相

成度

左記

植村參謀 出口中尉 川端通譯 吉川通譯  
佐藤一等兵

終

至急 21日12時30分

15時10分

第二組

軍參謀長

大邱

大邱日本人在話會ニ對シテ軍補助金支出現況  
一〇月一九日現在

補助金 二〇萬円

支出額 卅二萬七千九百八十三錢

殘金 一萬七千二百一十六錢

支出各内譯

會議費 二萬二千四百三十三錢

事務 二萬五千六百圓

需要費 三萬九千八百二十九錢

振護費 二萬二千四百圓

計 二萬八千七百八十三錢

大邱連絡班長

終

至急

21日12時

14時15分

甲

第二組

軍參謀長

農水

幕要連電第三八號

一本二日米軍ト兵器及軍需品ノ引継ヲ實施スニ

米軍側ニ警備兵力不足ノ理由トシテ兵力増加ヲ

以テ依然日本軍ト於テ警備ニ急度旨申出テ

其朝參電第三六一號ノ主旨ニ関シ如ク解ニ付米

軍高級司令部ト折衝、上至急農水米軍警備

力ノ增加方ヲ取計ニ相成度

二、華水地ニ治安狀況態ニ依然惡化ノ傾向アリ

殘留邦人ハ僅少トシテ華水警察署長及邑長共ニ  
引揚ゲタル存民間側。於テ邦人、其語、ナスニ全ク  
消滅シ連絡班ハ對米折衝ト在苗民、保護ニ多ク  
極メアリ。速ヤ。對米引継、完了シ在苗日本人、  
保護ノミニ専心致シ度

三日本人署長、引揚ニ伴、鮮人警察官及朝鮮人  
青年隊ハ米軍ノ前線指令、假稱シ合法的ニ在  
留日本人ニ压迫ヲ加ヘンアリ

華水要塞連絡班長

終

生至急

軍參謀長

21.12.00  
21.15.00

日本人引上げ指導為、連絡班長、  
ニ責便セラレタシ

光州連絡所長

小野參謀

光州 第15組  
二組

終

1692

至急

2/14 14時15分

14時

30分 (8)

第ニ組

軍参謀長

麗水

麗水電第ニ九號

一七日京城より(ラゲオ)故送ニ依ル麗水邦人

輸送

引揚、多渡航基地トセラルル由ナルモ事實ナルヤ至  
急送

平田大尉

麗水連絡隊長

運送係

終

至急

21日11時05分

18時05分

第二組

軍参謀長

釜山

10月20日、乗船せしむ、左、如し

セニウ丸

(博多)

八〇一名

徳壽丸

(博多) 三八八二名

第ニリツミ丸

(博多)

四〇二名

S B 九號

(博多)

一一〇六名

S S 六〇號

セニ般 (博多)

一〇九名

計

五三〇名

外  
112



緊急

21日 11時 05分

18時 0分

(15) 第 2 組

軍参謀長

釜山

釜山ニ於テ引揚知人ノ滞留者ハ本ニテ日乘船ヲ

モツテ全部一掃セリ 二十一日五午名 二十三日也七午名

ノ船舶輸送力アルニ付各地ヨリノ鉄道輸送ヲ強力ニ

支援相成度

釜山連絡部長

終

1695

生々心

軍參謀長

20.20.00

21.13.00

麗水

第二組

麗安運電第二三三号

朝參電第三七三号送電

南海砲台、砲台建築物、保管及ヒ其監視(兵器及ヒ軍需品ハ

皆無ナリ)

ニ解人治安隊米軍ノ指示ニヨルト假毎ニコシテ射以下南海  
邑ニ出頭セシメタルモノナリ。之ガ爲コシテ射ハ任地ヨリ脱ヲ得ズ  
毎ニ強硬ニ拒絶セルモ事終ラ後復ニ解決セシカ爲左記處  
置ヲ爲シ解人側ノ要求ニ應ビリ

(イ) 砲台ノ保管監視ヲ附近部落區長ニ依頼ス

(ロ) 治安隊ニ対シ砲台保管ノ責任ヲ確約セシムナリ

(ハ) 砲台諸建築物ハ總テテ釘付ケラニ密  
隙ニ外部ヨリ進入セシムル

始クス

(二) 朕隊本部残置兵指揮官ニ連絡セントセシモ電話ノ使用ヲ防害セ

シメラレシニ為 附近ノ人ニ依頼セリ

之ヲ要スルニコシテ尉ノ取リタル處置ノ事体ヲ穩便ニ解決セント念ズル

餘リトテ米軍ノ指示ニ依ルモノナル事ヲ半信半疑ノ儘復等ノ要求ニ

應ジテ軍械信ヲ失~~ハ~~遺セルモ兵器ノ使用ヲ努メテ避ケントセシク

斯<sup>レ</sup>ヲ事<sup>ニ</sup>備<sup>ヘ</sup>ト<sup>リ</sup>タルモノニシテノ當時状況上止ムヲ得タルモノ有リト信

ズ尚砲台建造物ハ不在間何等異状ヲ認ムズ

三、武器ノ使用ニ非ハズ

四、コシテ尉以下ハ嚴重訓戒セリ

五、結論、且テ不詳事件ノ發生セル地域然<sup>レ</sup>モ遠<sup>ク</sup>僻<sup>ニ</sup>地ニ過<sup>ラ</sup>ズ

兵カラ殘置セル隊長ノ處置適切<sup>ナ</sup>ラザルモノ有リト信ス寧<sup>モ</sup>事件

發生ハ八月二日ノ事件ニ對シテ充分<sup>ニ</sup>解決ヲ得ザリシニ<sup>テ</sup>起<sup>ル</sup>因<sup>ニ</sup>由<sup>ル</sup>ズ

モノナリ

麗水要塞連絡班長

34

生普通

軍參謀長

護朝參電第七七号

護朝部隊打人引上ケニ関スル連絡將校岡田少尉

ニ傳ヘラレ度

途中無事到着セリヤ。亦何時頃歸隊ノ事定ナリヤ

21.15.00

21.15.30

井邑

14  
第ニ組

終

1698

至急

21日14時知事

12時止

第二組

軍參謀長

天安

昨二日一二日鳥致院彈藥集積所ノ米軍

引継ヲ完了ス

天安京城師管已連絡班長

終

生野志

軍務官区司令官

21.21.35

博多

24  
第二組

第一五。即團ハ全羅南北道ノ警備ニ任ズル日高

參謀ノ指揮ニ一。名及ビ釜山附近ノ勞役ヲ

課セラレタル<sup>ハ?</sup>ホイ<sup>ハ?</sup>第四<sup>ハ?</sup>班<sup>ハ?</sup>井<sup>ハ?</sup>三八百名ノ外昨十八

別冊  
附録

日無事復員ヲ完結セリ。細部ニ関スルハ後報

ス。

局係ニ政通信前多し

三五七

軍參謀長

21.19.07

21.21.20

護朝參電第八号

一本二十日米軍約七百名井邑ニ進駐セリ近ノ興徳

高敵モ同方面ニ進駐スルモノ知シ

ニ、三が、リ警備隊ハ光州駐屯ノ米軍ト警備ヲ交

シテ言迄ニ井邑ニ集結ヲ命ゼラル

三、其ノ爲地区ハ状況判明ス

井邑 第二組

23

終

1701

生年志

軍参謀長

2/15/45

2/21/20

金山 第二組 22

朝鮮内ニ於ケル日本人ノ十哩以上ノ旅行ハ許可ヲ要  
スル布告ニヨリ各地引上げ邦人ノ輸送ハ遅延シアルヤ  
ニシテブンスルモ關係方面ト事前ニ連絡ヲ密山ニシテ  
ル事ナキ様各連絡班ヲ指導シアイナリ度 初鹿

終



至急

先方受付 2/16 40

電報班受付 2/19 00

受付番號

20

發所 釜山

軍參謀長

各地別31上ゲ邦人人員數及現在ノ集結狀況通報アリ度  
米軍当局ノ要求ニ依ル

釜山連絡部長

(終)

1703

至急

先方受付 2/17/10

電報班受付 2/19/00

受付番號 21

# 軍參謀長

發所 釜山

一、密陽軍兵器處理班<sup>班長</sup>連終部ニ出頭シ

指示ヲ求メタリ



班ノ編成ハ大邱師管區コマタ少尉以下六九名、他ニ山本技術少尉

技術伍長一、同兵一ナリ

三、右ノ員ハ現在ノ内地渡航停止ノ<sup>解除</sup>解除ヲ待<sup>ツ</sup>テ

其ノ解除ノ時期決定次第ヲ通知アリ度

四、兵站部主力ヲ目下待期セシメテリ、要塞司令部ノ整備ヲ

米軍ニ引継次第ノ前項ト同様ニ歸還セシムル考ヘナリ

生特彙

軍參謀長

交船電第一〇三五號

朝參電第三五號附狀

京仁地巴柳留民十九万ヲ仁リヨリ輸送ノ件貴地米軍  
ノ希望ナリ哉。先ニ南鮮出港中ノ船舶以外ニ更ニ  
仁リニ増加配船スルハ目下ノ船額上莫施ヲ困難ナルヲ以テ  
京釜線狀況之ヲ許セバ依然南鮮經由トセラレ度キ  
意見ナリ。貴意見至急返

18  
海軍時刻 1021  
1700

第二組

東京

終

至急

2/16 特急 30分

1/特急 35分

(16)

第二組

軍參謀長

京城

又電第一七八號

京仁地區、休暇軍人及同家族約三萬五千人、

軍政廳、計畫三月一、二、三日頃より一日平均六千人  
死釜山向々輸送を開始也云

(通電先)

太田、釜山

終

至急 21日15時分

17時分

(17) 第二組

軍司令官

東京

陸普電第九一號

凡月末現在軍人軍屬ニ對シ高等官俸給月額十割  
判任官以下俸給月額十五割賞與ノ左記ニ依リ支給  
シ得ルトス定ムル

一、外~~籍者~~者<sup>者</sup>除<sup>テ</sup>營内住居者陸軍<sup>工務</sup>規定ノ適用ヲ  
受クル工員及應徴セニ員ヲ除ク

二、朝鮮ニ於テ復員スル者、其ノ所管ニ於テ内地帰還  
者ハ内地港灣上陸後上陸地支局ニ於テ之ヲ支給ス

終

1707

至急

20日15時40分

21日15時10分

10/13 第二組

軍參謀長

東京

法電第五號

特別減刑基準

一、減刑ハ恩赦令第七條第二項但書ノ特別減刑ニ限リセウ

セウヲナスコト

二、減刑ニ就イテハ昭和三年一月三日迄ニ内閣總理大臣ニ

執奏ヲ求ムコト 但シ沖繩、樺太、朝鮮、若シハ台湾スハ

閩東州、南洋群島其他ノ帝國外ノ地域ニ於テ刑ニ

處スレタル者ニ付 執奏ヲ求ムキ 期限ハ時直ニ依リ 延期

之得ルモノトシ別途之ヲ考慮スルコト

三、減刑ノセウセウハ、減刑令第一條ニ掲グルモノニテ同令ニ依リテ

一般減刑ヲナサザルモノト。ワキ之ヲナスコト。但シ同令第五條

第一號ニ掲グル罪ト及之ト性質ヲ同ジクスル朝鮮、台湾

閩東州若クハ南洋群島ニ行ルル法令又ハキウホウノ罪ヲ犯

シタルモノヲ除ク

四、減刑ノセウセウハ、減刑令ニ依リ刑ヲ減刑スルコト。レウキ罪ヲ

カニセウハ、二十年九月二日前裁判ノ宣告ヲ受ケ同日以後

恩赦ノ証書交付前裁判カフテシタルモノノ内ニウキモ又之ヲ

ナスコト。犯罪即決ノ言渡シヲ受ケタルモノニツイテモ之ニ準

スルコト

一  
二

五、減刑ノソウツイハハ、セウ、ケウセウ、犯罪後ノ狀況等ヲ

詳細ニ查察シテ之ヲナスコト

六、減刑ノセウセウニ就イテハ、減刑令第二條乃至第四條ノ

令ニヨルコト

録  
1112



至急 20日15時5分 首15時10分 (12) 第二組

軍參謀長



東京

法電第六號 (其七)

特別 フラン基準

一、フランクハ恩赦令ト後段ニヨルモノトシ 昭和二年九月二日

前減刑令第五條第一號ニ掲ケル罪以外ノ罪ニ付

罰金以上ノ刑ニ處セラルル者資格ノ喪失又ハ刑ヲ

レタルモノニシテソノ刑ノ執行ヲ終リタル者又ハ執行ノ

免除ヲ受ケタルモノ内ニ付テモ犯狀ニ基テ犯罪後ノ

狀況等ヲ詳細ニ | 世ウヒウヲナスニト

ニ、フクケンニ就イテハ、昭和二年一月三日迄ニ内閣總理大臣

ニ執奏ヲ求ムト但シ沖繩、樺太、朝鮮、~~呂宋~~、~~台湾~~

又ハ南東州、南洋群島ト以外、地域ニ於テ刑ニ處

セシタルモノニ付、執奏ヲ求ムキ期限ハ時宜ニ依リ延期

ニ得ルモノトシ、之ヲ考慮スルニト

三、フクケンハ刑ノ執行ヲ終リヌル執行ノ免除有リタル<sup>目ヨリ</sup>

<sup>経過</sup>カシタル期間ノ長短ニ拘ラズ、<sup>ノ</sup>緩大ニ取扱フニト

終

生至急

10/21/17:00

25 第二組

10/21/17:30

軍參謀長

東京

法電第二號 其三

前二回ノ計算ヲ出スニ當リ年月又ハ日ノ端數ヲ生ズル時ハ  
一年ハ之ヲ十二月一月ハ之ヲ三〇日トシテ日ノ端數ハ之ヲ  
除去ス

第五條左ニ掲グル罪ニ付テハ其ノ刑ヲ減刑ス

一 刑法第七三條及第七五條ノ罪

二 刑法第八一條乃至第八八條ノ罪

三 刑法第九八條ノ罪及ヒ其ノミツイ罪

四 刑法第一〇八條ノ罪及ヒ其ノミツイ罪

1713

五刑法第一八一條ノ罪

六刑法等二。條ノ罪及其ノミツイ罪

七事改配偶者ノ言々刑存続ニ付シテハ犯シタル刑法

等二。四條ノ罪

八刑法第二。五條等二項ノ罪

終

至急 20日14時40分

21日11時30分

(13)

第二組

軍法務部長

東京

法電荒外

朝暗電號外返

本月一七日 タイシヤ令 ゲンケイ令 及 フツケン令 交付ニシレ  
併セテ 特別トクシヤ、特別ゲキキ及 特別フツケンヲ行ヒ  
ニレタリ 同勅令及 基準ニ関スル書類ハ 送達不能  
行別電ス

(意味不明ニ行再電ニレモナリ)

終

NY 575

(昭和)

210800  
210810

(1)

第二編

武高参謀

天安

天安京成電線局局長

上海應召者及同族日人一名(上海一輪)

本二十日六時三十分入京取手形券入

上海中野區入員名目

(附)